

令和5年度 事業報告

令和6年6月18日

公益財団法人 熊本県総合保健センター

目 次

1 総括	P1
2 令和 5 年度基本戦略及び事業戦略の取り組みについて	P1
(1) 基本戦略について	
(2) 事業戦略について	
(3) 新施設建設について	
3 保健事業実績	P4
(1) 地域保健	
(2) 職域保健	
(3) 学校保健	
(4) 特定保健指導	
(5) 精度管理	
4 普及啓発活動	P10
(1) 自主事業	
(2) 支部事業	
(3) 協力事業	
5 健康経営（S O U H O 革命）	P13
6 受託事業	P13
7 研究・調査事業協力	P14
8 学会発表等	P15
9 その他	P18
(1) 熊本県集団検診機関連絡会	
(2) 熊本県胃検診推進協議会	
(3) 全衛連九州地方協議会	
(4) 主な行事	
(5) 学会・研修会等参加状況	
附属明細	P21

1 総括

令和5年度の事業実績については、地域保健は236,157人（前年度比96%）、職域保健は108,881人（前年度比101%）、学校保健は21,141人（前年度比102%）となり、合計は366,042人（前年度比98%）となった。

地域保健においては、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後も引き続き感染対策を行いながらの事業展開となった。コロナ禍の収束が不透明のなか、地域の特定健診やがん検診は、コロナ発生前の令和元年度と比較し受診数は約89%に止まることとなった。

職域健診では、価格競争により競合他機関へ移行した事業所があり、健診の質と採算の確保が課題となっている。

特定保健指導については、巡回、施設ともに、「健診と特定保健指導の一体化」として、健診当日の保健指導を強化した。

当センターは、コロナ禍でも安心して受診できる健診体制を整え、「熊本県健康増進計画(第5次くまもと21ヘルスプラン)」及び「第4次熊本県がん対策推進計画」など県の健康づくり施策と連携し、生活習慣病予防のための特定健康診査や保健指導、各種がん検診、普及啓発活動を実施することにより県民の健康づくりに寄与することができた。

2 令和5年度基本戦略及び事業戦略の取り組みについて

(1) 基本戦略

総務部において、基本戦略として、①生産性向上、②人材力強化、③組織風土改革、④コンプライアンスの4つの視点で取り組んでいる。令和5年度は、職員給与見直しの一環として、医師に関する各種手当の改正を行った。

また、主幹以上を対象に外部講師によるメンタルヘルス研修を実施し、部下職員へのケアや職場環境改善スキル等の習得を図った。

更に、令和5年度も引き続き健康経営推進のため、「SOUHO 革命」を柱に様々な健康づくり事業に取り組んだ。

(2) 事業戦略

① 健康管理部

新健診システムは導入して3年目となり、稼働が安定化してきている。

令和6年度の第4期特定健診・特定保健指導の見直しにあわせ、開発業者にシステム変更を依頼するとともに、問診票・結果帳票・判定基準値など内部作成可能なシステムの変更を行った。また、システム変更後の徹底した検証を行うためのチェック体制を検討した。

令和6年度分にむけた健診料金の改訂については、経費高騰分を反映するために5月頃より月2回程度の内部検討会を開催し、8月に決定した。

特定保健指導については、初回支援実施数が 3,355 名（前年比 94.9%）であった。令和 6 年 1 月から熊本市特定健診受診者へ健診当日の初回支援を新たに開始し、71 名の指導を行った。

また、職員の支援技術の向上に向けて室内研修時に事例検討や Web 研修等を取り入れるとともに、自主的に勉強会に参加するなど自己研鑽に励んだ。特定保健指導の中断率については、令和 2 年度 9.0%、令和 3 年度 13.1%、令和 4 年度 25.0%と増加しているため、今後は原因分析を行い、支援の質の向上とともに支援完了者の増加を目指していく。

精密検査受診率の向上について、精密検査未受診者に対し受診勧奨の 2 回実施を受託している 3 町村においては、複数のがん検診で精密検査受診率 100%となった。また、施設の職域健診において、健診結果で至急医療機関受診が必要な受診者に対し、従来の文書勧奨に加え電話による勧奨を実施したことにより大幅に受診率が向上した（21.7%→44.5%）。

さらに、令和 5 年度限りの事業であるが、協会けんぽの健診機関における受診勧奨事業（健診当日の血圧値と血糖値から抽出）を受託し、251 名の受診勧奨と 74 名の受診状況確認を行った。

また、精密検査受診率が低い「大腸がん検診」（令和 4 年度 59.0%）及び循環器疾患の主な原因である「動脈硬化」に着目した勧奨チラシを作成し、勧奨通知と併せて送付した。今後も受診率アップを目指して取り組んでいく。

② 巡回健診部

健診計画の平準化について、職員の休日を確保するため、各受託先の自治体との協議を行い 35 日間の調整を行った。また、渉外部門である巡回企画室に新設した問診票等準備や健診予約電話対応を行う事業支援班にて効率的な受診数の調整を行い健診の平準化に努めた。

収益性の向上の取り組みとして、職域健診においては、閑散期の効率的な職員配置を図り職域健診を推進するため、地域・職域ごとの健診チーム数の調整を行うとともに、健診実施時間等について事業所と協議を行った。また、超音波検査が可能な構造に改造した機材運搬車を活用し、超音波検査対応数を拡大するなど繁忙期対応を行った。

専門資格保有者の計画的育成について、超音波検査士育成 5 か年計画に基づき病院実習等を行い、認定超音波検査士等の育成を行った。また、各職種において健診時の多能工化のスキルアップのため実施研修を行った。

③ 施設健診部

新規検査の導入として、①FIB-4index（肝線維化に関する検査）②視野検査（緑内障の早期発見）③NT-proBNP（心不全の検査）④TFP12（卵巣がんの腫瘍マーカー）⑤歯周病唾液検査の 5 つの検査について検討し、令和 6 年度から NT-proBNP を実施することとした。

また、受診環境の向上として、令和6年度から健診予約時間に沿った受付、検査への案内を行い、健診効率化を図るため、令和5年度から問診票を送付する封筒に案内を印刷し、また、受付や各検査室のフロアにポスターを掲示する等周知を行った。

また、休日健診は、土曜日に1社60名を予定し、41名が受診した。受診率が80%以下であったため、今後の課題として、健診受診予定数やスタッフ数の検討を行う必要がある。

業務効率化については、Web予約・問診導入に向け、システム仕様にに基づき仮運用を策定し、所用の予算計上が承認された。Web予約については、令和6年度内に稼働テスト運用を行う。

最後に新規顧客の開拓について、後期高齢者向け及び30歳代の若年層の日帰りドックの事業について市町村へ提案を行い、令和6年度から実施することとなった。また、退職後のシニア層への健診コース新設を検討し、事業所や個人への勧奨に取り組んでいくこととした。

(3) 新施設建設計画

令和6年2月に新施設建設に係る専任部署として新センター整備室を設置した。

また、新施設建設計画については、令和6年2月に現地建替えによる新施設建設基本計画を策定するとともに、公募型プロポーザル方式により基本設計及び実施設計業務受託者の選定に着手した。

3 保健事業実績

当センターが実施する保健事業は、「地域保健」、「職域保健」、「学校保健」の3つに分けられ、令和5年度実績数は、以下のとおりである。

(1) 地域保健

① 巡回健診

(単位：人)

健（検）診項目	令和5年度 計画 A	令和5年度 実績 B	計画比 (B－A)	令和4年度 実績 C	実績比 (B－C)	増減率 B／C
特定健康診査	24,305	22,794	△1,511	22,965	△171	99%
ふるさと総合健診	8,670	8,413	△257	8,467	△54	99%
胃がん検診	14,905	13,546	△1,359	14,674	△1,128	92%
子宮頸がん検診	13,940	13,593	△347	13,898	△305	98%
乳がん検診	20,853	20,237	△616	20,454	△217	99%
肺がん検診	35,378	31,951	△3,427	34,506	△2,555	93%
大腸がん検診	20,332	20,154	△178	21,238	△1,084	87%
結核検診	41,803	37,782	△4,021	40,533	△2,751	93%
骨粗鬆症検診	7,916	7,693	△223	7,926	△233	97%
腹部超音波検診	31,823	31,412	△411	31,788	△376	99%
その他	10,378	11,332	954	10,977	355	103%
小 計	230,303	218,907	△11,396	227,426	△8,519	96%

② 施設健診

(単位：人)

健（検）診項目	令和5年度 計画 A	令和5年度 実績 B	計画比 (B－A)	令和4年度 実績 C	実績比 (B－C)	増減率 B／C
特定健康診査	2,091	2,165	74	2,167	△2	100%
日帰りドック等	881	757	△124	812	△55	93%
胃がん検診	1,476	1,325	△151	1,434	△109	92%
子宮頸がん検診	1,946	1,830	△116	1,992	△162	92%
乳がん検診	2,473	2,266	△207	2,523	△257	90%
肺がん検診	2,427	2,319	△108	2,476	△157	94%
大腸がん検診	2,238	2,040	△198	2,186	△146	93%
結核検診	2,404	2,298	△106	2,456	△158	94%
その他	1,884	2,250	366	2,094	156	107%
小 計	17,820	17,250	△570	18,140	△890	95%

地域保健	令和5年度 計画 A	令和5年度 実績 B	計画比 (B－A)	令和4年度 実績 C	実績比 (B－C)	増減率 B／C
合計	248,123	236,157	△11,966	245,566	△9,409	96%

(2) 職域保健

① 巡回健診

(単位：人)

健（検）診項目	令和5年度 計画 A	令和5年度 実績 B	計画比 (B - A)	令和4年度 実績 C	実績比 (B - C)	増減率 B / C
法定外	4,235	4,009	△226	4,439	△430	90%
法定	13,390	11,129	△2,261	13,545	△2,416	82%
生活習慣病予防コース	2,155	3,710	1,555	2,218	1,492	167%
協会健保（一般）	4,390	4,177	△213	4,360	△183	96%
特殊健診	9,015	10,172	1,157	14,474	△4,302	70%
特定健康診査	1,300	1,386	86	1,442	△56	96%
結核検診	950	857	△93	1,022	△165	84%
胃がん検診	385	431	46	514	△83	84%
子宮頸がん検診	400	347	△53	310	37	112%
乳がん検診	440	396	△44	367	29	108%
大腸がん検診	3,350	4,102	752	3,436	666	119%
腹部超音波検診	1,350	1,446	96	1,371	75	105%
その他	4,200	7,901	3,701	5,410	2,491	146%
小 計	45,560	49,949	4,389	52,908	△2,959	94%

② 施設健診

(単位：人)

健（検）診項目	令和5年度 計画 A	令和5年度 実績 B	計画比 (B - A)	令和4年度 実績 C	実績比 (B - C)	増減率 B / C
法定外	273	266	△7	359	△93	74%
法定	8,270	7,427	△843	9,595	△2,168	77%
生活習慣病予防コース	2,611	2,695	84	2,602	93	104%
協会健保（一般）	10,245	9,982	△263	10,040	△58	99%
協会健保（ドック）	2,140	2,069	△71	2,080	△11	99%
各種人間ドック	3,892	3,403	△489	3,447	△44	99%
特殊健診	2,494	3,348	854	2,701	647	124%
特定健康診査	789	734	△55	762	△28	96%
結核検診	214	109	△105	83	26	131%
胃がん検診	274	259	△15	337	△78	77%
子宮頸がん検診	3,866	3,522	△344	3,531	△9	100%
乳がん検診	4,436	4,163	△273	4,041	122	103%
大腸がん検診	585	459	△126	536	△77	86%
その他	16,141	20,496	4,355	14,737	5,759	139%
小 計	56,230	58,932	2,702	54,851	4,081	107%

職域保健	令和5年度 計画 A	令和5年度 実績 B	計画比 (B - A)	令和4年度 実績 C	実績比 (B - C)	増減率 B / C
合計	101,790	108,881	7,091	107,759	1,122	101%

(3) 学校保健

① 教職員

(単位：人)

健（検）診項目	令和5年度 計画 A	令和5年度 実績 B	計画比 (B - A)	令和4年度 実績 C	実績比 (B - C)	増減率 B / C
結核検診	5,880	6,351	471	6,342	9	100%
結核検診（精密）	0	0	0	0	0	0%
胃がん検診	2,330	2,454	124	2,319	135	106%
小 計	8,210	8,805	595	8,661	144	102%

② 学生

(単位：人)

健（検）診項目	令和5年度 計画 A	令和5年度 実績 B	計画比 (B - A)	令和4年度 実績 C	実績比 (B - C)	増減率 B / C
結核検診	9,920	10,687	767	10,406	281	103%
結核検診（精密）	0	0	0	0	0	0%
ツベルクリン反応・BCG	0	0	0	0	0	0%
尿・心電図・貧血・診察	0	1,512	1,512	1,581	△69	96%
小 計	9,920	12,199	2,279	11,987	212	102%

学校保健	令和5年度 計画 A	令和5年度 実績 B	計画比 (B - A)	令和4年度 実績 C	実績比 (B - C)	増減率 B / C
合計	18,130	21,141	△3,011	20,648	493	102%

～ 実績合計 ～

(単位：人)

巡回健（検）診	令和5年度 計画 A	令和5年度 実績 B	計画比 (B - A)	令和4年度 実績 C	実績比 (B - C)	増減率 B / C
合 計	293,993	289,860	△1,259	300,982	△11,122	96%

(単位：人)

施設健（検）診	令和5年度 計画 A	令和5年度 実績 B	計画比 (B - A)	令和4年度 実績 C	実績比 (B - C)	増減率 B / C
合 計	74,050	76,182	2,132	72,991	3,191	104%

(単位：人)

総合計	令和5年度 計画 A	令和5年度 実績 B	計画比 (B - A)	令和4年度 実績 C	実績比 (B - C)	増減率 B / C
	368,043	366,042	△2,001	373,973	△7,931	98%

(4) 特定保健指導

特定保健指導は、センターが実施する健康診断の受診者に対して行う保健事業である。
健診受診後の生活習慣改善につなげるための重要な事業である。
保健師、管理栄養士が、センター施設内及び各地域へ出向き実施する。

〔地域 巡回〕

(単位：人)

特定保健指導項目	令和5年度 計画 A	令和5年度 実績 B	計画比 (B－A)	令和4年度 実績 C	実績比 (B－C)	増減率 B／C
動機付け支援	635	584	△51	636	△52	92%
積極的支援	147	141	△6	150	△9	94%
合 計	782	725	△57	786	△61	92%

〔地域 施設〕

(単位：人)

特定保健指導項目	令和5年度 計画 A	令和5年度 実績 B	計画比 (B－A)	令和4年度 実績 C	実績比 (B－C)	増減率 B／C
動機付け支援	68	114	46	79	35	144%
積極的支援	23	41	18	22	19	186%
合 計	91	155	64	101	54	153%

〔職域 巡回〕

(単位：人)

特定保健指導項目	令和5年度 計画 A	令和5年度 実績 B	計画比 (B－A)	令和4年度 実績 C	実績比 (B－C)	増減率 B／C
動機付け支援	169	130	△39	194	△64	67%
積極的支援	345	270	△75	382	△112	71%
合 計	514	400	△114	576	△176	69%

〔職域 施設〕

(単位：人)

特定保健指導項目	令和5年度 計画 A	令和5年度 実績 B	計画比 (B－A)	令和4年度 実績 C	実績比 (B－C)	増減率 B／C
動機付け支援	702	844	142	756	88	112%
積極的支援	1,170	1,231	61	1,329	△98	93%
合 計	1,872	2,075	203	2,085	△10	100%

～ 特定保健指導 実績合計 ～

(単位：人)

特定保健指導項目	令和5年度 計画 A	令和5年度 実績 B	計画比 (B－A)	令和4年度 実績 C	実績比 (B－C)	増減率 B／C
動機付け支援	1,574	1,672	98	1,665	7	100%
積極的支援	1,685	1,683	△2	1,883	△200	89%
合 計	3,259	3,355	96	3,548	△193	95%

(5) 精度管理

がん検診における精度管理として、検診後の精密検査結果を把握し、その集計統計から発見されるがんの数等を全国レベルと比較している。また、発見されたがんについては、「発見がん個票」を作成し、がんのステージや組織、分類等について追跡調査を行い、関係市町村と連携し受診者の事後管理に努めている。なお、日本対がん協会へ報告を行った令和 3 年度におけるがん検診の実績は下表のとおりである。

		要精検率 (%)	精検受診率 (%)	がん発見数 (人)	がん発見率 (%)
肺がん検診	センター	0.20	85.00	11	0.02
	全国	1.89	81.63	1,332	0.05
胃がん検診	センター	2.78	66.80	20	0.05
	全国	4.23	82.09	1,691	0.11
大腸がん検診	センター	6.26	56.04	50	0.09
	全国	5.62	65.94	3,944	0.17
子宮頸がん検診	センター	2.25	85.10	9	0.03
	全国	1.52	80.42	145	0.01
乳がん検診	センター	3.93	86.07	79	0.26
	全国	4.31	87.01	3,120	0.28
総 数	センター			169	
	全国			10,232	

※1 全国実績については「令和 5 年（2023 年度）版がん検診年次報告書（日本対がん協会）」より記載

※2 胃がん検診の発見がん数には、内視鏡を含む

※3 子宮頸がん検診の発見がんは浸潤がんと腺がんの合計

がん検診のプロセス指標（許容値）

指 標	肺がん	胃がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
要精検率	3.0%以下	11.0%以下	7.0%以下	1.4%以下	11.0%以下
精検受診率	70%以上	70%以上	70%以上	70%以上	80%以上
がん発見率	0.03%以上	0.11%以上	0.13%以上	0.05%以上	0.23%以上

また、外部機関評価は以下のとおりである。

①全国労働衛生団体連合会	胸部 X 線検査分野	評価 A
	胃部 X 線検査分野	評価 A
	臨床検査分野	評価 A
	労働衛生検査分野	評価 A
	腹部超音波検査分野	評価 A
②結核予防会	胸部 X 線画像評価	判定 A
③日本乳がん検診精度管理 中央機構	乳房 X 線画像	評価 B
④熊本県臨床検査精度管理	臨床化学	判定 A
	免疫血清	判定 A
	血液	判定 A
	細胞	判定 A
	一般	判定 A
⑤日本医師会	生理	判定 A
	臨床検査精度管理	判定 A
⑥日本臨床衛生検査技師会	臨床化学	評価 A
	免疫血清	評価 A
	血液	評価 A
	細胞	評価 A
	一般	評価 A
⑦熊本県医師会	生理	評価 A
	標準化サーベイ	良好
熊本県臨床検査技師会	(第 101～103 回)	

4 普及啓発活動

法人独自による公益目的事業のための普及啓発活動はもとより、公益財団法人結核予防会及び公益財団法人日本対がん協会の熊本県支部としての普及啓発を行った。

また、講演会の実施や地域イベントへの参加などを通じ、広く県民へ健康づくりのための普及啓発を行った。

(1) 自主事業

①地域保健研修会

特別講演 「新型コロナ これまで、これから -生活習慣病予防を含めて-

公益財団法人結核予防会 理事長 尾身 茂 先生

報告事項 「歯科に関するアンケート調査報告について」

健康管理部 健康支援室 保健師 渡部 菜々子

「安心・安全に健診を受けていただく為の看護班の取組みについて」

巡回健診部 巡回健診室 看護班 倉永 英子

「予防できるがんにおける当センターの現状と今後の展望」

施設健診部 施設健診室 看護班 浦田 香織

情報提供 「熊本県の現状と健康増進の取組み」

熊本県 健康福祉部健康局 健康づくり推進課

②健康講話等

健診を実施している事業所等より依頼を受け、時間栄養学や生活習慣病予防、職場環境改善やメンタルヘルス関連など多種多様なセミナーを実施した。

【セミナー内容】

- ・生活習慣病予防について
- ・生活習慣病と職場での健康づくり（禁煙）
- ・健康経営で広がる健康の輪
- ・ラインケア活用術
- ・目指そう！いきいき健康生活～「時間栄養学」を味方に～
- ・いつ食べる？食べる時間でからだが変わる！～知って得する時間栄養学～
- ・延ばそう！健康寿命！～睡眠の質向上とストレス緩和からのアプローチ～
- ・健診結果の活用で未来を変える
- ・知っておきたい“花粉症”と“頭痛”
- ・いつまでも健康でイキイキ働くために

また、昨年に引き続き YouTube を活用し、健康情報を発信した。

【令和 5 年度作成のコンテンツ (YouTube)】

- ・ブレスト・アウェアネス「乳房を意識する生活習慣」
- ・楽しくお酒（アルコール）と付き合おう
- ・今日からかえる生活習慣～活動量アップのための 3 つのかえる～
～間食を楽しむための 3 つのかえる～
- ・必ず受けよう！精密検査（がん検診）

(2) 支部事業

① 複十字シール運動

複十字シール運動（8 月 1 日～12 月 31 日）に合わせ、熊本県健康を守る婦人の会とともに募金活動を行った。なお、今年度の募金総額は、5,280,152 円であった。

② 結核予防・がん征圧街頭キャンペーン

【令和 5 年 9 月 23 日（金） 熊本市 ゆめタウンサンピアン】

全国一斉結核予防週間及びがん征圧月間に係る行事として、県民への結核・がんに対する正しい知識の普及啓発のため、熊本県健康を守る婦人の会熊本市支部及び熊本県健康危機管理課、熊本市の感染症対策課・健康づくり推進課とともに、結核パネルや肺がんモデルの展示、結核予防に関する資料の配布、複十字シール運動募金や「がん検診無料デジタルクーポン券」の配布を行った。

また、からだスマイルコーナーでは、体組成測定やベジチェック、健康相談を行い、歯周病リーフレットや歯ブラシを配布した。当センターマスコットキャラクター「そうほくん」との記念撮影には、子供たちが大勢押ししかけていた。

【令和 5 年 9 月 30 日（土） 益城町 阿蘇くまもと空港】

空港 1F 展示スペースに肺がん模型、結核予防週間ポスター、禁煙ポスター、啓発パネル等を掲示した。また、ベジチェックや栄養相談を行った。

また、マスコットキャラクター「そうほくん」が、くまモンスクエアに出演し、結核に関するクイズを出題した。

③ リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2023 くまもと

令和 5 年 5 月 13 日（土）14 日（日） 熊本市 白川公園

当センターのブースで、がん検診のパネルやポスターを掲示し、「がん検診無料デジタルクーポン券」の配布を行った。

(3) 協力事業

① ジャパン・マンモグラフィー・サンデー

【令和5年10月15日(日)】

子育て・介護・仕事など多忙な日々を過ごす女性のため、「10月の第3日曜日に全国どこでもマンモグラフィー検査が受診できる環境作り」を提唱する「ジャパン・マンモグラフィー・サンデー(JMSプログラム)」に賛同し、76名の健診を実施した。健(検)診毎の内訳は、乳がん検診33名、子宮頸がん検診30名、肺がん検診45名、胃がん検診35名、大腸がん検診42名、特定健診28名であった。

② テレビ出演等による普及啓発活動

・テレビくまもと「てれくま医療情報室」(熊本県医師会へ協賛)

令和5年8月30日(水)「がん征圧月間」 小林 理沙 医師

令和5年9月20日(水)「結核予防週間」 田上 昭人 医師

・テレビくまもと「くらしの窓」(熊本県医師会へ協賛)

令和6年3月30日(土)「がん検診について」 村上 友佳 医師

・FM熊本「FMK RADIO BUSTERS」

令和5年11月7日(火)「そうぼくんの紹介と当センターの活動について」

施設健診部 施設企画室 大瀨 留理子

巡回健診部 巡回企画室 長脇 瑠璃

③ 菊池郡市薬剤師会 市民公開講座

【令和5年11月12日(日)】

合志市総合センター「ヴィーブル」の体育館にて、当センターのブースで、肺がんや乳がんの模型、がん検診のパネルやポスターを掲示し、「がん検診無料デジタルクーポン券」の配布を行った。

④ 令和5年度東区民まつり「けんぐん食と健康まつり」

【令和5年11月18日(土)】

健軍商店街アーケードにて、当センターのブースで骨粗鬆症の無料検診や、栄養相談、「がん検診無料デジタルクーポン券」の配布を行った。

5 健康経営「SOUHO革命」

国が推奨する「健康経営」について、センター職員の自己健康管理能力を高め、心身の健康を向上させ、センター経営の発展につなげることを目的に「SOUHO革命」と称し、①栄養、②運動、③禁煙、④睡眠の4つの柱を置いたプログラムを策定した。

今年度は「栄養」の面から食後自己血糖の測定会や飲酒セミナーを行った。「運動」では、通年で実施している歩数アップ大会やラジオ体操の他、大運動会を開催し運動と共に職員間の交流を図った。「睡眠」の面からは、寝姿勢圧の測定やセミナーを開催した。更に、昨年度に続き「女性特有の健康関連課題」に着目し、女性の健康セミナーとして骨密度の測定を行った。

職場環境の改善としては、仮眠室の設置や歯科検診受診の促進、男性育児休暇取得の促進を行った。

また、今年度も全国健康保険協会（協会けんぽ）熊本県支部の呼びかけで、従業員の健康増進に取り組む企業の連携を目的として設立された「くまもと健康企業会」に、幹事企業として定例会等に参加した。

さらに、経済産業省の健康経営優良法人認定制度（大規模法人部門）において上位500社に与えられる「健康経営優良法人2024（ホワイト500）」の認定を受けた。

6 受託事業

熊本県より受託した以下の事業を行った。

（1）全国がん登録事業

県内の医療機関の協力により、全国がん登録に係るデータ22,560件、地域がん登録に係るデータ97件を受理したが、国立がん研究センターにおける全国がん登録データベースシステム更改に伴う不具合により、国に設置されたデータベースへの登録については11,945件となった。また、それに付随する2021年度の病院別に実施する遡り調査も実施できない状況となった。

また、各医療機関から提供されたデータを対象に、がんに係る調査研究目的のため申請があった5医療機関については40,481件の予後情報の提供を行った。

（2）国保ヘルスアップ支援事業

令和5年度から県国保ヘルスアップ支援事業「二次医療圏の現状に応じた保健事業支援」の業務を熊本県から受託した。主な委託内容は下記のとおり。

①二次医療圏毎の保健事業支援について

現状を把握するため、県内 10 保健所すべてにヒアリングを実施し、保健事業の課題を把握。希望があった菊池、宇城、天草保健所をモデル保健所として、保健事業の企画から実施、評価等に関する支援（3 保健所合計で 10 回の研修会等）を行った。

研修終了後に、市町村において研修内容を活かした事業が展開される等の動きが出てきており、市町村支援に繋がった。

②小規模事業場への健康支援について

事業主を対象とした研修会を開催するために、商工会等 16 団体に訪問し、事業内容の説明を実施。併せて健康診査の実施状況等に関するアンケート調査を実施。商工会等 5 か所に健康診査に関する研修を実施した。さらに、3 事業所に対して健康づくりにつながる行動変容を目的としたセミナーを開催し、1 か月後に実施状況の評価を行った。40 歳未満の健診受診者で保健指導対象者 11 人の個別指導を行い、1 か月後に評価を行った。1 か月後に体重減少した・体調が良くなったと回答した人が半数いた。

小規模事業場の支援は県、市町村において重要なこととの認識はあるが取組が進んでいない分野であり、当センターの地道な取組が評価され次年度の委託契約へとつながった。

7 研究・調査事業協力

国及び研究機関等が実施する研究・調査事業への協力を行った。

（１）国立研究開発法人 日本医療研究開発機構

超音波検査による乳がん検診の有効性を検証する比較試験（J-START）

（２）独立行政法人 労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所

東電福島第一原発緊急作業従事者に対する疫学的研究

（３）国立研究開発法人 日本医療研究開発機構

低線量ＣＴによる肺がん検診の実用化を目指した無作為化比較試験研究

（４）国立がん研究センター 社会と健康研究センター

職域における喫煙対策対話型支援の有効性評価

8 学会発表等

- (1) 第 243 回熊本産科産婦人科学会 学術講演会（令和 5 年 7 月 1 日：熊本市）
「子宮頸がん検診後の精密検査の報告」

医師 江川尚批呂

HPV ワクチンの再開により、子宮頸がんの減少と世界的な子宮頸がんの検診の流れから、HPV 単独健診になることが予想され、検診後報告と方針が重要になると考えられる。現在は子宮頸がん検診の判定がベセスタシステムに変更されて、精密検査の取り扱いが、ASC-US、ASC-H 以上、腺系異常の 3 種類に大別される。そこで、ベセスタ分類の各々の精密検査報告について比較・検討した。1) ASC-US では、細胞診が 226 例中 59 例、HPV 検査が 226 例中 209 例、2) ASC-H 以上では、細胞診のみが 98 例中 30 例、コルポ・生検が 98 例中 90 例、3) 腺系異常では、頸部細胞診のみが 8 例中 3 例、頸管及び内膜細胞診又は組織診が 8 例中 1 例であった。これらの現状及び問題点・改善点を考察してみた。

- (2) 第 52 回日本消化器がん検診学会九州地方会（令和 5 年 7 月 29 日：福岡市）
「胃がん検診における内視鏡検査での十二指腸乳頭部（主乳頭）観察の意義」

医師 上田城久朗

目的：対策型の胃がん検診における十二指腸乳頭部病変の発見及び主乳頭観察の成否における因子を検討する。

対象と方法：2019 年 4 月から 2023 年 4 月まで、当センターで行った熊本市胃がん検診における内視鏡検査 510 例（男性 188 例・女性 322 例、平均年齢 67.8 歳）を対象とした。対象における主乳頭の観察の成否については患者背景因子と手技関連因子を単変量及び多変量解析を行った。

結果：対象 510 例中、119 例は十二指腸乳頭部の観察が可能であった。十二指腸乳頭部を観察できた 119 例において傍乳頭憩室を 2 例、神経内分泌腫瘍（NET）を 1 例認めた。NET については熊本市内の基幹病院で根治術を行われ、G-1 の NET であった。主乳頭観察成否の因子については、性別・十二指腸潰瘍瘢痕の有無・鎮静剤使用の有無・過去に ERCP 等の胆道内視鏡に従事していたか否か等の項目を検討した。単変量解析（Fisher の正確確率検定）と多変量解析（ロジスティック回帰分析）いずれにおいても胆道内視鏡に従事していたか否かのみが有意な因子となった。

結論：今回の検討では、対策型の胃がん検診における内視鏡検査において治療対

象となる腫瘍性病変（NET G-1）を 1 例発見した。十二指腸乳頭部腫瘍は、いわゆる直視鏡を用いた上部消化管内視鏡検査（esophagogastroduodenoscopy: EGD）で唯一発見可能な胆道腫瘍であるため、EGD を施行する際は乳頭部の観察を意識して行うべきである。

（3）第 61 回日本消化器がん検診学会大会（令和 5 年 11 月 2 日：神戸市）

「熊本市胃がん検診（対策型検診）における当センターの内視鏡検査の成績」

医師 上田城久朗

熊本市では 2019 年 4 月より対策型検診として胃内視鏡検査における胃がん検診を行っている。2019 年 4 月から 2021 年 3 月までの 2 年間で当センターを含む胃内視鏡検査（検診）実施機関で 7022 件の対策型検診が行われた。

7022 件中、30 例の胃がん症例と 5 例の食道がん症例を認め、同時期の当センターでの熊本市胃がん検診における胃内視鏡検査 244 件で胃がんを 1 例、食道がんを 3 例認めた。自施設を除く他施設（群）と自施設の胃がんと食道がんの発見について Chi-squared test で統計学的解析を行ったところ、胃がんについては p 値 1.0・オッズ比 0.96 であったが、食道がんについては p 値<0.001・オッズ比 42.17 と有意差を認めた。当センターで行った熊本市胃がん検診における胃内視鏡検査のプロセス指標を算出したところ、全項目で目標値ないし許容値を達成していた。

対策型検診における当センターでの胃内視鏡検査について、さらに検討を追加して報告する。

（4）第 32 回日本婦人科がん検診学会（令和 5 年 10 年 15 日：東京）

「子宮がん検診後の精密検査の報告と問題点（2019～2020 年度）」

医師 江川尚批呂

目的：HPV ワクチン接種の再開により、今後子宮頸がん検査の流れが、HPV 単独検査になることが予測され、精密検査の結果管理が重要になると考えられますが、子宮頸がん検診の精密検査の報告様式は検診施設毎により異なるため、当センターでの検診データの検証ともに、問題点を見つける

対象：当センターで 2019/2020 年度に（以後に/で記載）細胞診で精密検査となった症例

結果：精密検査の割合は 2.8/2.8%であった。未受診の割合が高いのは LISL で 27.4/27.7%であり、年齢では、共に 30 歳～49 歳で 10%以上であった。SCC では未受診者はいなかった。ASC-US では、細胞診のみの検査が 16.1/14.9%で、

HPV 陽性率は 17.0/34.4%で、HPV 陽性者で未生検は 53.8/67.4%で、40 歳未満の HPV 陽性率は 27.5/69.7%未精検率は 68.3/76.3%であった。ASC-H 以上の精密検査では生検が推奨されるが、細胞診又は HPV の単独/併用は ASC-H で 28.1/27.0%、LISL で 28.3/19.8%、HISL で 11.5/2.9%で、SCC ではほぼ生検で、腺系異常では体部系の検査が少なかった。CIN3 以上と診断がついた症例で 40 歳未満は ASC-US で 58.3/80.0%、ASC-H で 40.0/57.1%、LISL で 88.9/50%、HISL で 44.4/68.9%、SCC で 40/50%、AGC・腺癌で 60/50%あった。精密検査報告書に関しては、共通して文字判読困難、扁平上皮内病変疑い、細胞診/コルポで CIN 分類、生検/コルポでのベセスダ分類、検査方法・結果の未記載・不明での診断、紹介先不明、検査機関未記載などがあった。

考察：未受診者の 30～40 歳代大半は任意型検診と考えられ、管理について検討が必要、40 歳未満では診断がついた症例で CIN3 以上が多いため、精度管理をあげる必要がある。また精密検査の登録では、精密検査結果報告書の統一様式、簡便さ、記載漏れがない為のチェックシート化などが考えられ、健診機関からでなく、学会からの指導と医療機関側への周知が必要と考えられた。

9 その他

(1) 熊本県集団検診機関連絡会

当センターが事務局として、県内 10 ヶ所の集団検診機関及び行政との連携協力を図ることを目的に例年 2 回の定例会を開催している。本年度は令和 5 年 6 月 16 日（金）に定例会を熊本市において、令和 6 年 2 月 22 日（木）に定例会及び専門部会を玉名市において開催した。

(2) 熊本県胃検診推進協議会

当センターが事務局として、胃集団検診機関並びに胃がん精密検査機関の精度向上と健診業務等の円滑な推進を目的に研修会を開催した。

①令和 5 年 9 月 23 日（土） 熊本市

「咽頭・食道内視鏡観察の基礎と早期癌診断のコツ」

上尾中央総合病院 消化器内科 診療顧問 有馬 美和子 医師

②令和 6 年 3 月 8 日（金） 菊池市

「当センターにおける内視鏡検診の現状

—H. pylori 未感染胃癌を中心に—」

熊本県総合保健センター 副所長 村上 晴彦 医師

③令和 6 年 3 月 19 日（火） 八代市

「除菌時代の胃がん検診」

済生会熊本病院予防医療センター センター長 満崎 克彦 医師

(3) 全衛連九州地方協議会

令和 6 年 1 月 26 日（金）、全衛連九州地方協議会を幹事機関としてホテル熊本テルサで開催した。全衛連の相澤会長、亀澤専務理事はじめ九州の全衛連加盟機関 14 機関で協議を行なった。

(4) 主な行事

月	日	名 称	場所
4	3	職員採用辞令交付式	熊本市
5	13・14	リレー・フォー・ライフ・ジャパン2023	熊本市
	16	令和4年度に係る事業及び会計監査	熊本市
6	5	第1回理事会	熊本市
	16	第1回熊本県集団検診機関連絡会	熊本市
	23	定時評議員会・臨時理事会	熊本市
8	18-24	職員採用試験（一次）	Web
9	6	職員採用試験（二次）	熊本市
	7-8	日本対がん協会 がん征圧全国大会	山口県
	23	ヘルシーデイ（結核予防週間・がん征圧月間街頭キャンペーン）	熊本市
	30	結核予防週間キャンペーン	益城町
11	29	地域保健研修会	熊本市
12	28	仕事納め式	熊本市
1	4	仕事始め式	熊本市
	11	安全祈願式	熊本市
	26	全衛連九州地方協議会	熊本市
2	1	定期人事異動辞令交付式	熊本市
	9	令和5年度結核予防会・日本対がん協会九州・沖縄各県支部合同会議	長崎県
	22	第2回熊本県集団検診機関連絡会	玉名市
3	18	第2回理事会	熊本市
	14・15	第75回結核予防全国大会	東京都
	27	熊本県総合保健センター永年勤続者表彰	熊本市
	29	職員退職辞令交付式	熊本市

(5) 学会・研修会等参加状況

月	日	名称	場所
4	21	令和5年度第1回インボイス制度セミナー	WEB
5	12	第75回日本産科婦人科学会学術講演会	東京都
5	27	日本超音波医学会 第96回学術集会	埼玉県
5	31	令和5年度地域精神保健福祉医療担当研修会	熊本市
6	3	令和5年度熊本県健康づくり実践講座	熊本市
6	4	第198回マンモグラフィ更新講習会	京都府
6	8	第80回九州連合産科婦人科学会	WEB
6	15	第59回日本肝臓学会総会	奈良県
6	16	第64回日本臨床細胞診学会総会（春期大会）	WEB
6	30	公益・一般法人の実践簿記会計講座〈基礎コース〉	WEB
7	1	令和5年度熊本産科婦人科学会 第243回学術講演会	熊本市
7	13	令和5年度特定保健指導担当者研修会	熊本市
7	20	令和5年度結核予防技術者地区別講習会（九州地区）	熊本市
8	7	企業のメンタルヘルス対策と労務管理セミナー	WEB
8	8	選別聴力検査研修会	大阪府
8	26	令和5年度熊本県健康を守る婦人の会会員研修会	熊本市
8	29	保健師・看護師等研修会（労働衛生コース）	東京都
9	1	女性リーダー養成講座〈キャリアアップ〉	熊本市
9	6	提案営業の進め方セミナー	福岡市
9	15	第83回細胞検査士教育セミナー	WEB
10	2	第8回胃がん検診専門技師研修会	WEB
10	2	第64回日本人間ドック学会学術大会	WEB
10	4	令和5年度熊本県産業安全衛生大会	熊本市
10	6	高年齢労働者の転倒・腰痛防止からの労務管理までを学ぶセミナー	東京都
10	6	令和5年度特定保健指導実施機関合同研修会	熊本市
10	8	第33回九州地方会学術集会、第22九州地方会講習会	福岡県
10	12	心理相談専門研修	福岡県
10	13	女性リーダー養成講座〈リーダーズスキルアップ〉	熊本市
10	13	新入職員フォローアップ研修	熊本市
10	14	第32回日本婦人科がん検診学会総会・学術講演会	東京都
11	2	第31回日本消化器関連学会週間	兵庫県
11	14	第4期特定健康診査等実施計画書説明会	熊本市
11	16	巻き込み力強化研修	福岡市
11	16	第62回日本臨床細胞学会秋季大会	WEB
11	29	令和5年度乳がん検診従事者講習会	熊本市
12	1	管理監督者・職場リーダーのためのメンタルヘルス	福岡県
12	7	健診機関職員研修会基礎コース	東京都
12	20	第44回保健師・看護師研修会	WEB
12	26	超音波診断講習会（消化器）	WEB
1	27	保健活動を考える自主的研究会	WEB
2	2	職場リーダー向けリスクアセスメント研修	熊本市
2	3	第31回乳房超音波技術更新講習会	大阪府
2	7	令和6年度肺がん検診従事者講習会	WEB
2	10	第11回乳房超音波技術講習会	東京都
2	10	神奈川マンモグラフィ撮影技術講習会	神奈川県
2	10	令和5年度子宮がん検診従事者講習会	熊本市
2	17	第39回熊本県臨床細胞学会学術集会・総会	熊本市
2	17	2023年度マネジメント研修会	東京都
2	19	令和5年度糖尿病予防対策関係者研修会	熊本市
2	27	超音波診断講習会（乳腺）	WEB
2	28	令和5年度診療放射線技師研修会	WEB
3	4	メンタルヘルス教育に活かすセルフケア技法研修（中災防）	東京都
3	7	社会保険事務講習会	熊本市
3	16	健康運動指導士、健康運動実践指導者登録更新認定講習会	熊本市

令和 5 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和 6 年 6 月

公益財団法人 熊本県総合保健センター